

コード No. 18251

**Anti-Rat
GRO/CINC-1 Rabbit IgG**

容量 : 500 µg

- はじめに : GRO/CINC-1 (Growth Related Oncogene/cytokine-induced neutrophil chemo attractant 1)は元々、IL-1β 刺激されたラット腎臓の上皮細胞(NRK-52E)の培養上清から精製されました。ラット CINC-1 をコードするアミノ酸配列は 1989 年に富山医科薬科大学で渡辺らのグループによって同定されました。CINC-1 はケモカインのアルファ(CXC)サブファミリーに属し、それに加え 3 つのラット CXC ケモカイン(CINC-2α, CINC-2β, CINC-3/MIP-2)も同定されています。CINC-1 タンパク質の配列は 63 - 67 % が CINC-2α, CINC-2β, CINC-3/MIP-2 と一致しています。また GROα, GROβ および GROγ では、CINC-1 とそれぞれ 68%, 71 %, 69 %の相同性があります。このことから、ラット CINC-1 がヒト GROs のカウンターパートであることが示唆されています。
- 免疫抗原 : Rat GRO/CINC-1 の全合成ペプチド
- 精製方法 : Protein A による特異精製
- 包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥
- 再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 500 µg/mL となります)
- 保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定
溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定
- 使用目的及び使用方法 : 免疫組織染色 (ホルマリン固定 パラフィン包埋切片)
10~20 µg/mL にて使用可能
ウエスタンブロッティング 10~20 µg/mL にて使用可能
- 特異性 : Rat GRO/CINC-2α, Rat GRO/CINC-2β, Rat GRO/CINC-3, Mouse MIP-2 と非交差
Mouse KC と交差
- 参考文献 : Shijo H. *et al.* Evaluation of neutrophil functions after experimental abdominal surgical trauma. *Inflammation Res.* 47 (2): 67-74, 1998